

福島県 南相馬市

人口:63,172人
世帯数:22,956世帯(平成27年4月1日現在)
就業人口:33,279人(平成22年10月1日現在)
市内GDP:2,691億円(平成21年)
面積:398.50km²(うち森林面積219.47km²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)

Q1. 環境的価値

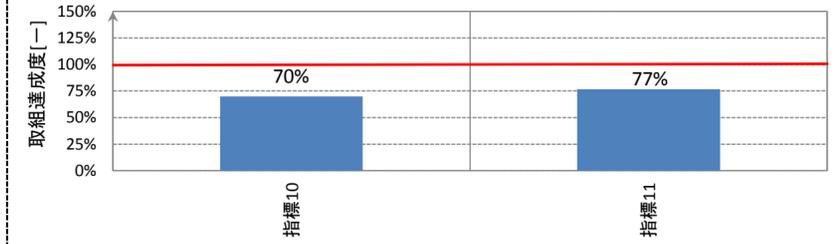
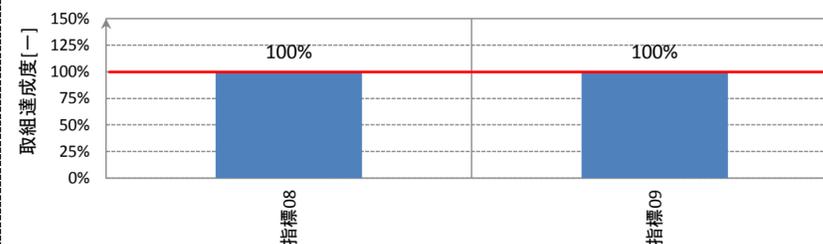
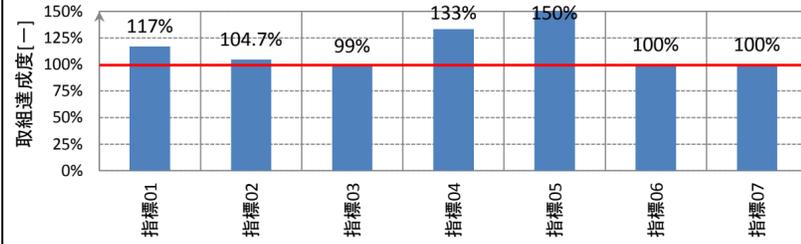
Q2. 社会的価値

Q3. 経済的価値

1年毎の目標値に対する達成度

1年毎の目標値に対する達成度

1年毎の目標値に対する達成度



3年目の達成度平均 **114.8%**

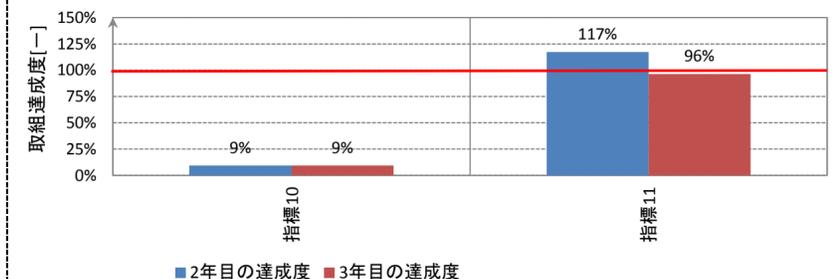
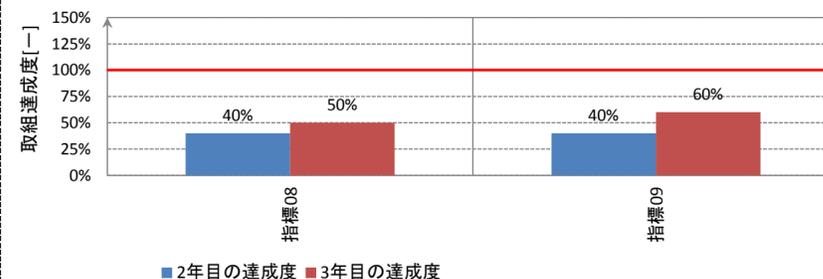
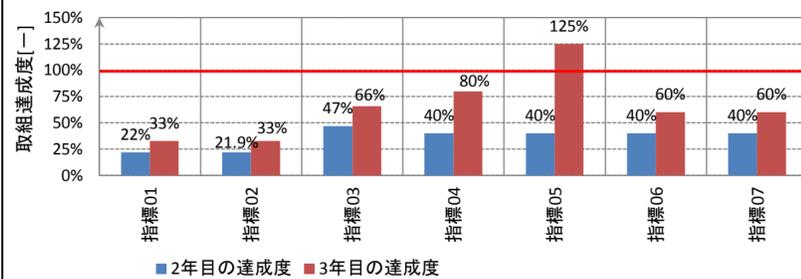
3年目の達成度平均 **100.0%**

3年目の達成度平均 **73.4%**

5年後の目標に対する達成度

5年後の目標に対する達成度

5年後の目標に対する達成度



3年目の5年目標に対する達成度平均 **65.2%**

3年目の5年目標に対する達成度平均 **55.0%**

3年目の5年目標に対する達成度平均 **52.9%**

指標番号	指標名	Q4.特記したい事項(国際展開・都市間連携等)	平成26年度の取組総括
指標01	再生可能エネルギー導入比率 (%)		<p>【取組1】 再生可能エネルギー基地(太陽光発電事業及び風力発電事業)の事業用地の確保に向け、県・関係機関との協議を進めたが、復旧事業・土地改良事業等との調整が前提のため、事業用地の確保が遅れている。</p> <p>【取組2】 家庭用太陽光発電設備の補助に併せて、HEMS設置補助を創設し、導入促進に努めた。</p> <p>【取組3】 EV導入について、公用車2台(累計4台)を導入するとともに、道の駅南相馬にEV急速充電設備を設置した。</p> <p>【取組4】 公共施設の再生可能エネルギー導入促進について、設置工事(8件)、実施設計(4件)を実施した。</p> <p>【取組5】 小川町モデル地区のワークショップにおいて、共同施設の概要を決定し、施設設計を発注。また、移転者を対象に太陽光・HEMS導入に関する説明会を実施した。</p> <p>【取組6】 植物工場の事業予定地の用地買収を完了。公募により管理運営者を決定。事業用地の埋蔵文化財試掘調査により工事着手が遅れている。</p>
指標02	再生可能エネルギー発電量 (MWh)		
指標03	住宅用太陽光発電設置装置に対する補助金交付件数(累計) (件)		
指標04	EVの公用車導入台数 (台)		
指標05	EV充電インフラの整備箇所数 (箇所)		
指標06	公共施設への太陽光発電設備等の設置件数 (件)		
指標07	スマートコミュニティモデル地区数 (地区)		
指標08	共同施設整備数 (件)		
指標09	健康支援活動実施地区数 (地区)		
指標10	農業法人雇用者数 (人)		
指標11	認定農業者数 (人)		
			委員からの取組全体に関する評価
			別紙参照

委員からのコメント【南相馬市】

○取組に、モデル性が乏しい。しごとづくりを目指した活動を積極的に展開してほしい。原発事故の大きなダメージから回復する努力は評価される。

○なかなか今後が見えない中で数値目標をより現実的な値に修正することは妥当であると思われる。市の重要課題により直結した指標や分野を設けるべきではないか。

○被災地であるため精一杯尽力していることを評価。

○地域の復興のための取組として再生可能エネルギー施設の導入を推進している点は評価できる。一方、放射線対策なども内容に盛り込むべきではないか。

○エネルギー循環の目玉事業がほしい。世代循環のための社会的価値指標を増やしてほしい。

○現状を踏まえて目標値を修正するなど現実的に対応してよい点は高く評価できる。最重要である就業機会として1次産業の再生を優先すべき。大規模再エネは制度変更に伴いフィージビリティが変化している点に留意が必要。

○除染が進まない中で苦勞されて取り組みをはかっている。農業を核とした雇用創出はハードルが高いと考えられ、その他の方法も模索する必要もあるように思う。さらなる取組を期待したい。

○避難指示解除が実現する来年度から本格的な復興まちづくりが再起動する段階と理解しますが除染が必要であること、住民の帰還がこれから始まることなどの状況を提示しつつ、南相馬ならではの環境未来都市、コミュニティ再生、産業再生の検討が進んでいることと、その中で各事業がどのような関係があるかを示していただくことが適切であると思います。

○全体的に評価ができる。しかしながらもう少しスピードアップが必要。新規雇用について課題として出されたが、それよりも人口をどうするのが課題だと考える。対策をどのように行い、誰をターゲットにするのか。大風呂敷を広げるのではなく、ターゲットをしぼってマーケティングなどを行っていくことが必要と考える。

○多くの取組で意識化がなされ、順調に進捗している。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日： 2015/6/5

作成者(部署/氏名)：

南相馬市 復興企画部 新エネルギー推進課 係長 戸浪 誠

承認者(部署/氏名)：

南相馬市 復興企画部長 安部 克己

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	推進会議設置要綱	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	推進会議設置要綱	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。			未対応
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。			未対応
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。		✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。		✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。		✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。		✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。		✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている		✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。		✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	

是正処置への対応の詳細

- ・近隣都市等と積極的に情報交換を図るとともに、事業連携についても検討する。
(東北復興シンポジウム(東松島市主催)への参加、環境未来都市をテーマとした「環境絵日記」事業(横浜市主催)への参加)
- ・成功事例の展開については、各取組の進捗が遅れていることから、今後、進捗状況に合わせて構築を進めることとする。

代表者による確認

市関係各課で構成する「南相馬市環境未来都市庁内推進会議」、及び専門的知見を有する学識経験者や関係機関等で構成する「南相馬市環境未来都市推進会議」を開催し、計画の進捗管理、評価、見直しを行った。

推進委員会による確認

特にご意見なし